



七校便り

宮城県白石高等学校七ヶ宿校

No. 4

平成22年 4月 1日

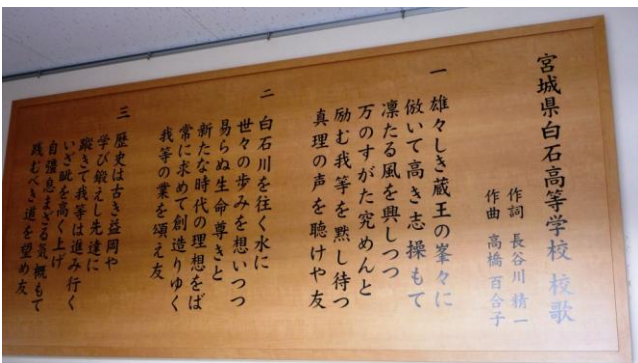
新白石高校スタート！

本日平成22年4月1日、白石高校と白石女子高校が統合された新白石高校がスタートしました。校章も校歌も全て新しいものになりました。

七ヶ宿校も本校と同じく校章・校歌が一新されましたので、校舎正面入り口に新校章、正面玄関を入ったところに新校歌のプレートを設置してもらいました。



校章は、白石の「白」をモチーフにして、大きく羽ばたく鳥を表したもの。



新しい校歌には、校訓である、
志操凜風（しそうりんぷう）
進取創造（しんしゅそうぞう）
自彊不息（じきょうやまず） が織り込まれています。3月24日（水）の修業式の際には、千田校長先生自らのご指導により職員及び在校生全員で新しい校歌を練習しました。

七ヶ宿校の22年度もスタート

3月4日及び17日に行われた県立高校の入学選抜学力検査において、七ヶ宿校には、男子9名、女子8名、計17名が合格しました。この結果、22年度の七ヶ宿校の在校生は、1年生17名、2年生8名、3年生14名、計39名となり、21年度の27名から大幅な増員となりました。



また教職員の異動により、本校に4年間勤務いただいた養護教諭佐藤克実先生は名取高校定時制に転勤することになりました。後任には白石高校の全日制で勤務しておられた大槻裕子先生がいらっしゃることになりました。

22年度も**アットホームな雰囲気の中で基礎学力向上と豊かな人間性の育成**を目指して教職員・生徒一致協力してがんばっていききたいと思います。

今年度は学校が新しくなったことで、七ヶ宿校の生徒も、4月8日（木）の午前中は、新校舎に行き開校式及び入校式に参列にすることになりました。ここでは練習の成果を発揮して大きな声で新校歌を歌ってほしいものです。また、午後には入学式が挙行されます。

就職支援プロジェクト 順調

進路部と2年生の共同企画で、春休み期間を利用してのインターンシップ（就職支援プロジェクトと命名）を立ち上げました。白石市内を中心に大河原町や蔵王町の企業に協力を求め、2年生に職場体験をさせることにより進路意識を高めて来春の就職活動にそなえようというねらいで始められたものです。

実際には忙しい年度末の時期でもあり、企業の都合もあったので2年生全員に体験させることはできませんでしたが、5名の生徒が3日～7日間程度の体験をさせていただき

とができました。残念ながら写真がありませんので実習中の姿をお見せできませんが、体験した生徒諸君の働きぶりはなかなか良かったようで、受け入れていただいた企業の方々の評判は上々でした。また修業式の折などに、体験してきた生徒諸君の感想を聞くことができましたが、生徒諸君からは勉強になった、辛いこともあったが楽しかった、就職のことを真剣に考えたい等の感想が聞かれました。この体験が刺激になって、他の生徒諸君の進路意識も高まってくれば、と思います。

「分校今昔物語」の原稿を求めています

昭和23年に関分校・湯原分校、次いで24年に小原分校が設立されて以来、本校は統廃合・名称変更等、様々な変化をしてきました。本校の60有余年の歴史を振り返ることで、未来への飛躍の第一歩とするため、同窓生や旧職員に呼びかけ、この度これまでの学校生活を生き生きと伝える「冊子（仮称・分校今昔物語）」を編むことになりました。

2月に同窓生や旧職員の方々に原稿依頼の文書を発送しましたが、残念なことに、なかなか原稿が集まりません。特に形式や字数に制限を設けなくて、冊子には多様な内容を盛り込もうと考えておりますので、奮って投稿していただければ幸いです。懐かしい高校時代を思い出して自由に書いてください。また、心当たりの同窓生・恩師の皆さんにも投稿をお勧めいただければ幸いです。

写真は小原公民館に「冊子」編纂の協力依頼に伺った際、いただいたものです。

昭和32年頃の小原分校の学校生活を撮影した貴重な写真です。

